



西中の風

伊丹市立西中学校長
豊田 實

雑 感

教頭 大西規之



2学期末の三者懇談も先週終わり、あとは終業式を迎えるだけとなりました。美術部による4つのクリスマスツリーが校舎内に設置され、校内にクリスマスマードを醸し出してくれています。12月16日付けで、PTA執行部から「シャキッ」と新聞」が発行されました。その中で、生徒を対象にとられた「配布物に関するアンケート」の結果が記載されていました。「あなたの興味のある配布物は何ですか?」という問い合わせに、1年生58名、2年生97名、3年生では52名の人が、「西中の風」と答えました。これはどの学年も学年通信に次ぐ多さで、学校通信に対する興味・関心の高さが伺えました。

さて、4月に本校に着任し、早いもので9ヶ月がたとうとしております。1日1日少しずつではありますが、西中学校の生活に慣れつつあるところです。平成23年の終わりを迎える今、これまでの9ヶ月間を振り返って、私の西中学校についての感想を書かせていただきます。

私は時々校内(本館→旧館→新館→体育館下1階、)を巡回しています。巡回するときはいつも手にはうきとちりとりを持って回ります。たいがいは一人で巡回しますが、ALTのピーター・コールマンさんと一緒に回ることもあります。ピーターさんは西中学校以外にも市内の2つの中学校に英語を教えに行かれています。2人で巡回しながらピーターさんから他校の様子をお聞きしています。巡回の目的は、①ゴミ拾い、②修理・修繕箇所の確認、③危険箇所の確認、④授業の様子の把握、⑤展示物の確認などたくさんあります。なぜこのような目的で回るかと言いますと、主にこの5つのことが乱れると、学校がいわゆる“しんどい”状況になっていくからです。落ち着いた学校が“しんどい”状況になっていくのは「あっ」という間です。それでは、巡回の様子をお知らせします。



(本館2階学校図書館前廊下)

まず、①ゴミの状況ですが、ほとんどといってゴミは落ちていません。これは、生徒達がごみを落としていないことと、意識ある人がゴミを拾っているのだと思います。ただ、トイレによつては、トイレットペーパーの芯や切れ端が落ちています。また、トイレのゴミ箱がいっぱいになっていることもあります。使う人も掃除をする人も注意をしてほしいものです。

次に、②修理・修繕箇所については、ほとんどといってありません。修繕箇所があった場合は、放置せずにすぐに技能員の方や業者の方に修繕していただいています。自然に壊れた箇所もあれば、故意に壊された箇所もあります。壊れているところを放っておくと、壊された箇所を見た人の心が乱れるとともに、「他の所も壊してやろう」と思い始める人もいるようです。それで、すぐに直していただくようにしています。蛍光灯のスイッチが押し込まれていたり、トイレの大便器の中にトイレットペーパーが放り込まれたりしていたときもありました。一番ひどかったのは1学期の終盤の頃だったと思います。しかし、現在は生徒達の心が安定しているのか、私が把握している限りほとんどといって故意に壊された箇所はありません。

③危険箇所については、危険箇所があった場合は、先生方が私に知させてくださいます。また、「安全点検」の日を1ヶ月に1回設けて、先生方に点検していただいています。その度、危険な箇所を無くすよう即対応しています。

(裏面続く)

④授業は、それぞれ学年の特徴はありますが、どの学年もどの授業も落ち着いて行われています。1年生は先生の質問に対して元気に反応し、2年生は静寂の中落ち着いて、3年生は進路実現を目指して集中して授業を受けることができているようです。この調子で授業を大切にしてもらいたいものです。

⑤掲示物等については、安心して展示することができています。今年度、4日間文化祭の展示を行いましたが、一度も展示物にいたずらされたということは聞きました。一緒に巡回しているピーターさんは、「安心して廊下に展示ができたり、図書室前に本が置ける学校は素晴らしいです」と言われています。現在の状況がいつまでも続いてほしいと思います。

以上、体育大会や文化祭で見ることができた華々しい生徒達の活躍も素晴らしいですが、日々の生活の中で見られる地味な行いについても敬意を表したいと思います。



現在の本校がこのような落ち着いた状況にあるのは、まずは保護者の皆様方の協力があるからだと思います。例えば、担任から提出物や宿題が出ていないことをご家庭に連絡を入れさせていただくと、すぐに提出物が出るようになったとか、健康面でもご家庭で気をつけていただいているおかげで本校は保健体育賞(注)をたくさん受賞しているなどの話を先生方から聞きます。また、PTA活動の充実もあげられます。執行部をはじめ各部の役員の方々は、毎日のように来校され、夜遅くまで活動されています。生徒達のことを思っての取り組みに日々感謝するとともに、頭の下がる思いです。

次に、先生方の指導があげられます。例えば、文化祭の合唱練習中、職員室には先生は誰一人残っておられませんでした。担任のみならず、副担任の先生方もすべて合唱の指導にあたっておられました。西中学校の素晴らしい合唱は、先生と生徒

が一丸となって作り上げられたものなのだと実感しました。この4月から、職員室が「空」になる状況は多々あります。掃除の時間、行事前の練習など、「空」になることが数多くあります。つまり、先生方全員が常に、生徒達とふれあい、会話をし、指導にあたっているということです。

本校では、生徒理解に基づいた生徒指導を実践しています。ただ、義務教育を終え、社会へ巣立つ手前の教育として、社会のルールやマナーなどについて「ならぬことはならぬのです」の信念で、厳しく指導する場面ももちろんあります。「優しさの中に厳しさのある」指導を行いたいと思いますので、ご理解の程よろしくお願ひいたします。このように、PとTが同じ方向を目指して、今後とも、子どもたちの指導にあたりたいと思います。

最後になりましたが、来年も素晴らしい年になりますよう、生徒の皆さんにはしっかりととした目標を立て、いいスタートが切れるようにしてください。また、保護者の皆様におかれましては、来年も引き続き本校の教育につきましてご協力いただきますようよろしくお願ひいたします。それでは皆様「よいお年をお迎えください！」

(注) 生徒・保護者の健康に対する認識を深め、あわせて平素の体力づくり及び疾病の予防と治療する習慣を養うことをねらいとし、日頃より健康の保持増進に努力している者等が市教育委員会及び学校保健会から表彰される。



※訂正お詫び

第19号 読売新聞紙上書道展 上期入賞者

3年 磯田理愛 さん